

令和元年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立八幡台小学校
作成日	令和2年 2月19日

1 教育目標

強く・正しく・美しい心を持つ子どもの育成	○心身ともにたくましく、意欲を持って粘り強く考える子 ○豊かな心を持ち、思いやりのある子 ○正しい判断のもと自ら進んで実践する子
----------------------	--

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○漢字博士試験合格90% ○全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査結果の市平均レベルへの引き上げ	○「心のとびら」活用5実践以上 ○いじめの解消率100%	○朝ごはん実施率100% ○生活習慣チェック合格率95%以上	○学校行事ごとの地域回覧板活用による情報発信率100% ○ホームページ更新随時
意見重点目標に対する	○漢字や計算等、基礎基本の反復練習を取り入れているのはよいことである。	○人の気持ちのわかる子どもを育ててほしい。 ○西脇ブロックで人権研修を行っているのはよいことである。	○長期休業明けの生活習慣改善についての取組は必要であると考え。 ○運動面での指標も示してほしい。	○地域への発信として、回覧板は有効である。 ○中学校区間では、人権について話し合う会があると聞けが、子どもどうしが交流できる場が少ない。
意見取組状況に対する	○グループでの学び合う姿が定着してきているように思う。 ○基礎学力の定着について、確認する時間を設けているか。	○道徳の実践に力を入れているとのこと。子どもたちが静かに学んでいる姿を見てとてもうれしく思う。	○生活習慣の改善は、長期休業明けに特に行っており、取組時期も適切である。結果を指導に生かすためには保護者への啓発の仕方が重要である。	○地域としても、大人と子どもの垣根をなくし、楽しいコミュニケーションを育んでほしい。地域への呼びかけ方を考えてほしい。
に取組の適切さの検証結果	○家庭にも読書の大切さを伝えてほしい。 ○学習規律等、落ち着いて学習に取り組んでいるか、先生の話聞くことができるか、わかりにくい問題を解くために集中できているかが問題である。	○いじめアンケートなど、子どもからの聞き取りを大切にし、対応していることを聞き、学校の指導が行き届いていると感じた。	○生活習慣の改善は、子どもへの指導や家庭との連携だけでは向上しにくい問題である。	○地域の方への感謝の集会は、気持ちのこもった集会となり、学校と関わりを持った地域の方とのまとめの交流にふさわしい会であった。この集会が充実しているので、学校と地域の関係がうまくいっていると感じた。
改善年度に向けた意見	○子どもの学習意欲を高め、根気よく考える力をつけ、学ぶ楽しさを味わわせてほしい。 ○読書の量を増やすことに重点を置いてほしい。 ○きめ細かい指導を行ってほしい。	○命の大切さ、友達との心の通い合い、親と子の絆等、豊かな心の育成は、学校だけの問題ではなく、家庭との連携が不可欠である。 ○細かなことも見過ごさずに、家庭と連絡を取り合うことが大切である。	○生活習慣だけでなく、楽しく運動できる環境作りをお願いしたい。 ○体力をつけて健康な体を手に入れるためにも、運動面での指標も作ってほしい。	○地域の人が学校へ集まりやすい環境や場所を作してほしい。 ○今後も、地域に広く情報を発信し、保護者や地域の方々の理解を得て、充実した支援・協力が得られるようにしてほしい。

3 其他のご意見

子どもに実施した学校生活に関するアンケート等からも、学校生活が楽しいことが伝わってくる。すでに取り組んでくれていると思うが、小学校へ入学するまでに最低限必要なことがらを幼稚園や保育所等で徹底してもらおうとよいと思う。

学校と家庭、地域が連携していけるような取組を考えてほしい。